

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町 65  
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175  
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「誰一人失うことなく」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「私をお遣わしになった方の御心とは、私に与えてくださった人を、私が一人も失うことなく、終わりの日に復活させることである。」(ヨハネ6:39、聖書協会共同訳、大齋節2020)

災害や感染症の不安の中にある方々を覚え、一日も早い安心が回復されますようにお祈りいたします。各教会、教区でも衛生管理や予防に努めるようにとの通知や話し合いがなされていると思いますが、冷静に判断しながら、すべての人々の健康を祈り、それぞれが予防につとめて行動していきたいと思います。

今年に入って、人権についての学びの機会がいくつかあり、出席させていただきました。日本で暮らす外国籍の中長期滞在者の人口が2019年末現在で約250万人となり、前年末から比べると17万人増加という過去最高の人数となっています。特定技能・技能実習生制度の影響が大きいのですが、それにまつわる様々な課題が山積し、その中でも差別やハラスメントによる人権侵害が深刻な問題です。歴史認識の不足や現状の理解不足による差別や排外的な言動もいまだに無くなることはありません。

私たちキリスト者が拠り所とするのは、誰一人も失うことなく、旅人をもてなし、片隅に追いやられた人を訪ねて癒し、小さくされたいのちに寄り添われたイエスさまの生き様であることを常に忘れずにいたいと思います。SDGs (Sustainable Development Goals・持続可能な開発目標) の世界的な取り組みのゴール(目標)は、誰も置き去りにしないということです。すでに企業などでは当たり前の指標となってきましたが、もとを辿ると、2000年を50年に一度のヨベルの年とするMDGs(ミレニアム開発目標)を国連が呼びかけたことから始まっています。ACC(全聖公会中央協議会)でも、各管区で2030年までの10年間の計画を示すようにと求められています。

アシジのフランシスコの祈りにありますように、わたしたちは平和の器として、憎しみに愛を・争いに赦しを・分裂に一致を・疑いに信仰を・誤りに真理を・絶望に希望を・暗闇に光を・悲しみ

## 口会議・プログラム等予定

(2020年2月25日以降)

### 3月

- 9日(月) 建築金融資金・教役者遺児教育基金運営委員会〔管区事務所〕
- 10日(火) 聖公会・ルーテル教会協議会〔市ヶ谷〕
- 11日(水) 聖公会・ローマカトリック合同会議〔四谷〕
- 24日(火) 正義と平和・ジェンダープロジェクト〔管区事務所〕
- 25日(水) 財政主査会〔管区事務所〕
- 26日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 30日(月) 女性の聖職位に関わる委員会〔管区事務所〕

### 4月

- 2日(木) 管区会計監査〔管区事務所〕
- 13日(月) 主事会議〔管区事務所〕
- 17日(金) 正義と平和委員会〔管区事務所〕
- 20日(月) 常議員会〔管区事務所〕
- 27日(月) 正義と平和・原発問題プロジェクト〔管区事務所〕

### <関係諸団体会議・他>

- 3月16日(月) 日本キリスト教連合会常任委員会〔早稲田〕
- 26日(木) 韓・朝鮮半島の平和を求めるキリスト者集会実行委員会〔早稲田〕
- 4月14日(火) 同宗連 40周年記念行事〔東京〕
- 15日(水) 同宗連総会〔神社本庁〕
- 24日(金) 日本キリスト教連合会総会〔早稲田〕
- 27日(月) ACT ジャパンフォーラム運営委員会〔早稲田〕

※このたびの感染症の拡大防止のため、会議プログラムなどの予定が変更されていますので、ご注意ください。詳細は管区のHPでご確認いただけますよう、よろしく願いいたします。

※3月28日(土)に予定されておりました中部教区主教按手式は、このたびの感染症の拡大防止のため5月2日(土)に変更となりました。

に喜びをもたらすことを祈り、慰め・理解し・愛し・与え・許し・献げるために遣わされていることを今一度覚えたいと思います。誰も置き去りにしない教会の働きとは、私たち一人ひとりにできる

ことは何かということ祈り求めながら、大斎節の歩みをはじめ、主のご復活を迎える備えとしていきたいと思います。

## 公 示

救主降生2020年3月3日  
日本聖公会 首座主教  
主教 ナタナエル植松 誠 ㊟

神のおゆるしがあれば、  
主教被選者 アシジのフランシス西原廉太師の主教  
按手式および日本聖公会中部教区主教就任式を下記  
のとおり、日程を変更して執行いたします。  
主にあるみなさま、ことに日本聖公会に属する信徒・  
聖職の代祷を求めます。

### 記

日時 : 2020年5月2日(土) 午前10時00分～  
(当初の3月28日より変更)

説教者: 主教 ゼルバベル広田勝一 師  
(北関東教区主教)

場所 : 日本聖公会中部教区 主教座聖堂(名古屋  
聖マタイ教会)

愛知県名古屋市昭和区明月町 2-53-1

※祭色は赤を用います。

以上

## 公 示

日本聖公会第65(定期)総会を下記のように招集  
いたします。

救主降生2020年3月3日  
日本聖公会 総会議長  
主教 ナタナエル植松 誠 ㊟

### 記

第65(定期)総会

日時 : 2020年6月2日(火) 13時から6月4日  
(木) 15時まで

場所 : 日本聖公会センター(牛込聖公会聖バル  
ナバ教会礼拝堂)

〒165-0805 東京都新宿区矢来町65番地

以上

## □常議員会

第64(定期)総会期第9回 2020年2月17  
日(月)

- BSA 青少年キャンプ(2020年3月)の後援依  
頼に関して、承認した(メール稟議、追認)。
- 第3回和解と平和を求める韓日キリスト者  
の共同祈禱会へ参加予定の大阪教区小林  
聡司祭と古澤秀利司祭への参加補助に関し  
て、アジア・太平洋地域平和和解資金よりそ  
れぞれの半額相当の経費補助を承認した。  
(後日取り止め)
- 「宗教法人日本聖公会大阪教区規則」の一  
部を変更(役員欠格事項)に関して、承  
認し次期総会で追認を求めることとした。

- 「宗教法人日本聖公会横浜教区規則」の一  
部を変更(会計監査委員選任方法)に関し  
て、承認し次期総会で追認を求めることとし  
た。

- 第65(定期)総会提出予定議案や日程など  
に関して、確認し協議した。

次回の会議: 2020年4月20日(月)

## □主事会議

第64(定期)総会期第8回 2020年1月20  
日(月)

<主な報告・協議>

- 海外出張承認について、下記の通り承認し  
た。

\* 3/3～5 ソウル 和解と平和を求める

韓日キリスト者共同祈禱会 日韓協働  
委員 呉光現(後日取り止め)

- \* 3/18～23 スイス/ジュネーヴ WCC中央委員会 司祭 西原廉太(後日取り止め)
- WCRP日本委員会からの「令和元年台風被害への復旧支援について」の募金呼びかけに応じ20万円、オーストラリア聖公会のABM(Anglican Board of Mission)からの「オーストラリアにおける大規模な森林火災」の募金呼びかけに応じ50万円を、それぞれ緊急災害支援資金から支出することについて、追認(メール稟議済)した。
  - 同時通訳用ワイヤレス音声ガイドシステムの貸出について、総主事が認めた場合にのみ貸出を許可することとし、貸出の際の申請書や破損・紛失の際の補償についての規定を整備した。
  - 2020年の教役者給与支援システムの試算方法について、複雑な計方法を改め、主に給与や扶養家族手当などの基本として計算を行うこととした。
  - 管区事務所だより年間購読の献金額について、見直しを行なった。20年以上変更してこなかったが、通信費・紙代・印刷代等の値上がりに伴い、個人1,200円、1箇所につき2部以上は1部1,000円の献金を申し受けることとした。

今回の会議:4月13日(月)

## □各教区

### 東京

- 第136(定期)教区会 3月20日(金・休)9時～17時 聖アンデレ主教座聖堂・聖アンデレホール
- 聖職按手式 2020年5月16日(復活節第5主日後土曜日)13時半 聖アンデレ主教座聖堂 司式:主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸 説教:司祭 ヨハネ神崎雄二 執事按手志願者:聖職候補生 セシリア下条知加子

### 中部

- 聖職按手式 2020年2月22日(顕現後第6主日後土曜日)10時半 主教座聖堂名古屋

聖マタイ教会 司式・説教:主教 ペテロ洪澤一郎 執事按手志願者:聖職候補生 ヨハネ相原太郎

### 大阪

- 第124(臨時)教区会 3月22日(日)15時～17時 大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)

### 神戸

- 聖職按手式 2020年3月21日(土)10時半(9時半より朝の礼拝) 神戸聖ミカエル大聖堂 司式:主教 オーガスチン小林尚明 説教:司祭 ミカエル小南晃 司祭按手志願者:執事 バルナバ永野拓也、執事按手志願者:聖職候補生 ルカ宮田裕三

## □神学校

### 聖公会神学院

- 2019年度卒業礼拝 2020年3月9日(月)13時 司式:校長 司祭 佐々木道人、説教:九州教区主教 主教 武藤謙一 卒業予定者:マグダラのマリヤ島 優子(九州) ウィリアムズ藤田 誠(東京)、ヒルダ藤田美土里(東京) 修了予定者:スザンナ中村真希(東京)

### ウィリアムズ神学館

- 2019年度卒業礼拝 2020年3月13日(金)11時 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 説教:主教 ダビデ上原榮正(沖縄) 卒業予定者:ウリエル 仲宗根遼祐(沖縄)

## \* 『聖公会手帳2020』の訂正

『聖公会手帳2020』のp.56、p.102、p.194に「大齋前主日」とありますが、正しくは「大齋節前主日」です。お詫びして訂正いたします。

## 📖 管区・出版物案内

『大齋節中の礼拝』 頒価 税込374円  
2017年10月5日 第7刷発行

お求めは聖公会書店 ☎04-2900-2771 または  
お近くのキリスト教書店にお願いいたします。

## 《人事》

## 東北

主教 ヨハネ加藤博道(退)	2020年3月31日付	定年により退職とする。 磯山聖ヨハネ教会牧師、仙台基督教会協働、仙台聖フランシス教会協働の任を解く。
主教 ヨハネ吉田雅人	2020年4月1日付	鶴岡聖公会管理牧師に任命する。
司祭 フランシス中山 茂	2020年3月31日付	青森聖アンデレ教会牧師、松丘聖ミカエル教会管理牧師、弘前昇天教会管理牧師の任を解く。
司祭 フランシス長谷川清純	2020年3月31日付	願いにより、横浜教区への転籍を許可する。 仙台基督教会牧師、白河基督聖公会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	青森聖アンデレ教会牧師、松丘聖ミカエル教会管理牧師、弘前昇天教会管理牧師に任命する。
司祭 アントニオ影山博美	2020年3月31日付	秋田聖救主教会牧師、能代キリスト教会管理牧師、大館聖パウロ教会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	仙台基督教会牧師、新庄聖マルコ教会管理牧師、磯山聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
司祭 ヤコブ林 国秀	2020年3月31日付	釜石神愛教会協働の任を解く。
	2020年4月1日付	能代キリスト教会協働を命じる。
司祭 ステパノ涌井康福	2020年3月31日付	山形聖ペテロ教会牧師、新庄聖マルコ教会管理牧師、鶴岡聖公会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	秋田聖救主教会牧師、能代キリスト教会管理牧師、大館聖パウロ教会管理牧師に任命する。
司祭 ドミニコ李 贊熙	2020年3月31日付	福島聖ステパノ教会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	山形聖ペテロ教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ八木正言	2020年3月31日付	郡山聖ペテロ聖パウロ教会管理牧師、小名浜聖テモテ教会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	郡山聖ペテロ聖パウロ教会牧師に任命する。
司祭 パウロ渡部 拓	2020年3月31日付	福島聖ステパノ教会副牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	福島聖ステパノ教会牧師、小名浜聖テモテ教会牧師に任命する。
司祭 ピリポ越山健蔵(退)	2020年3月31日付	小名浜聖テモテ教会嘱託司祭の任を解く。
	2020年4月1日付	司祭アントニオ影山博美のもとで、仙台基督教会において、嘱託司祭として勤務することを委嘱する。聖ペテロ伝道所居住とする(任期1年)。

	2020年4月1日付	司祭アントニオ影山博美のもとで、磯山聖ヨハネ教会において礼拝協力を委嘱する(任期1年)。
主教 ヨハネ佐藤忠男(退)	2020年4月1日付	司祭フランシス長谷川清純のもとで、弘前昇天教会及び青森聖アンデレ教会において礼拝協力を委嘱する。また司祭ステパノ涌井康福のもとで、大館聖パウロ教会において礼拝協力を委嘱する(任期1年)。
司祭 ヨハネ小野俊作(退)	2020年4月1日付	司祭ステパノ涌井康福のもとで、大館聖パウロ教会において礼拝協力を委嘱する(任期1年)。
<信徒奉事者認可> (仙台フランシス教会)	2020年1月20日付	(任期1年) サムエル影山敬信、ヨセフ長井 淳、チャールズ八代 現、サムエル渡部正裕
(仙台基督教会)		バルナバ赤坂有司、パウロ有我忠幸、ザカリヤ中村奉三、ラケル中村みどり、ステパノ西 重明、パウロ福土正明、バルナバ吉村哲夫、マーガレット若生伸子
<分餐奉仕協力許可> (仙台フランシス教会)	2020年1月20日付	(任期1年) サムエル影山敬信、ヨセフ長井 淳、チャールズ八代 現、サムエル渡部正裕
(仙台基督教会)		バルナバ赤坂有司、パウロ有我忠幸、ラケル中村みどり、ステパノ西 重明、パウロ福土正明

## 東京

主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸		
	2020年3月31日付	聖パウロ教会管理牧師解任
司祭 フランシス下条裕章	2020年3月31日付	大森聖アグネス教会管理牧師解任
司祭 パウロ宮崎 光	2020年4月1日付	聖パウロ教会管理牧師任命
司祭 ヨナ成 成鍾	2020年4月1日付	大森聖アグネス教会管理牧師任命
司祭 ナタナエル池 星熙	2020年3月31日付	月島聖公会牧師解任
	2020年3月31日付	神愛教会管理牧師解任
	2020年4月1日付	聖パウロ教会副牧師任命
司祭 ロイス上田亜樹子	2020年1月1日付	東京教区への入籍許可
	2020年2月1日付	月島聖公会副牧師任命
	2020年4月1日付	月島聖公会牧師任命
	2020年4月1日付	神愛教会管理牧師任命
司祭 バルナバ菅原裕治	2020年4月1日付	八王子復活教会管理牧師任命
司祭 ジェームス須賀義和	2020年3月31日付	八王子復活教会牧師解任
	2020年3月31日付	立教女学院チャプレン(非常勤)解任
	2020年4月1日付	立教女学院への出向命令
司祭 シモン・ペテロ上田憲明	2020年1月1日付	東京教区への入籍許可

司祭 スティーブン・クロフツ	2020年3月31日付	立教女学院チャプレン(非常勤) 解任
聖職候補生 ウィリアムズ藤田 誠	2020年4月1日付	目白聖公会勤務命令
聖職候補生 ヒルダ藤田美土里	2020年4月1日付	聖マーガレット教会勤務命令
聖職候補生 スザンナ中村真希	2020年4月1日付	聖アンデレ教会勤務命令
司祭 イサク小笠原愛作(退)	2020年4月1日付	小笠原聖ジョージ教会囑託司祭委嘱(任期1年)
司祭 オーガスチン杉山修一(退)	2020年4月1日付	渋谷聖ミカエル教会囑託司祭委嘱(任期1年)。
	2020年4月1日付	香蘭女学校囑託チャプレン(非常勤) 委嘱(任期1年)。
司祭 エドワード鈴木裕二(退)	2020年4月1日付	聖アンデレ主教座聖堂囑託司祭委嘱(任期1年)。

### 横浜

司祭 トマス吉田仁志	2020年2月16日付	八日市場聖三一教会牧師に任命する。
主教 イグナシオ入江 修	2020年2月15日付	八日市場聖三一教会管理牧師を解任する。
	2020年5月31日付	浜松聖アンデレ教会管理牧師を解任する。
司祭 フランシス中山 茂	2020年4月1日付	願いにより、東北教区からの転入を許可する。 館山聖アンデレ教会副牧師、安房大貫キリスト教会副牧師、鴨川聖フランシス教会副牧師、南三原聖ルカ教会副牧師に任命する。
	2020年5月31日付	館山聖アンデレ教会副牧師、安房大貫キリスト教会副牧師、鴨川聖フランシス教会副牧師、南三原聖ルカ教会副牧師を解任する。
	2020年6月1日付	館山聖アンデレ教会牧師、安房大貫キリスト教会管理牧師、鴨川聖フランシス教会管理牧師、南三原聖ルカ教会管理牧師に任命する。
司祭 バルナバ吉川智之	2020年5月31日付	館山聖アンデレ教会牧師、安房大貫キリスト教会管理牧師、鴨川聖フランシス教会管理牧師、南三原聖ルカ教会管理牧師を解任する。
	2020年6月1日付	浜松聖アンデレ教会牧師に任命する。
司祭 マルコ河崎 望(退)	2020年4月1日付	主教イグナシオ入江修管理のもとで横浜聖クリストファー教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する(任期1年)。
司祭 ヤコブ三原一男(退)	2020年4月1日付	主教イグナシオ入江修管理のもとで松戸聖パウロ教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する(任期1年)。
司祭 アンデレ宇田正行(退)	2020年4月1日付	主教イグナシオ入江修管理のもとで浜松聖アンデレ教会教会において囑託司祭として勤

		務することを委嘱する(任期2020年5月31日まで)。
司祭 ステパノ岡野保信(退)	2020年4月1日付	主教イグナシオ入江修管理のもとで茂原昇天教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する(任期1年)。
執事 ヨナ眞栄田 肇(退)	2020年4月1日付	司祭バルナバ田澤利之のもとで福田聖公会において囑託執事として勤務することを委嘱する(任期1年)。
<信徒奉事者認可> (静岡聖ペテロ教会) (林間聖バルナバ教会)	2020年1月7日付 マルコ平岡義和 クリストファ小平 基	(任期1年)
<b>中部</b>		
主教 ペテロ渋谷一郎	2020年3月28日付	中部教区主教を解任し、主教座聖堂付とする。
	2020年3月31日付	定年により退職とする。
	2020年4月1日付	名古屋聖ステパノ教会、豊田聖ペテロ聖パウロ教会、豊橋昇天教会、福島教会、飯田聖アンデレ教会管理牧師を解任する。
	2020年4月1日付	長野伝道区内各教会における主日礼拝等への協力を委嘱する(任期1年)。
司祭 アシジのフランシス西原廉太	2020年3月28日付	岡谷聖バルナバ教会管理牧師を解任する。
(主教 アシジのフランシス西原廉太	2020年3月28日付	岡谷聖バルナバ教会管理牧師に任命する。)
司祭 テモテ土井宏純	2020年3月31日付	軽井沢ショー記念礼拝堂牧師を解任する。
	2020年4月1日付	主教座聖堂付とし、名古屋聖ステパノ教会、福島教会、飯田聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
司祭 エリエゼル中尾志朗	2020年4月1日付	豊田聖ペテロ聖パウロ教会、豊橋昇天教会管理牧師に任命する。
司祭 フランシス江夏一彰	2020年4月1日付	軽井沢ショー記念礼拝堂管理牧師に任命する。
司祭 ダビデ市原信太郎	2020年4月1日付	軽井沢ショー記念礼拝堂における主日礼拝への協力を委嘱する。
司祭 ヨセフ石田雅嗣	2020年4月1日付	上田聖ミカエル及諸天使教会における主日礼拝への協力を委嘱する。
司祭 マルコ箭野眞理(退)	2020年4月1日付	司祭中尾志朗のもとで豊橋昇天教会、豊田聖ペテロ聖パウロ教会の囑託を委嘱する(任期1年)。
	2020年4月1日付	柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)。

司祭 ペテロ田中誠(退)	2020年4月1日付	司祭江夏一彰のもとで松本聖十字教会、司祭土井宏純のもとで稲荷山諸聖徒教会における主日礼拝等への協力を委嘱する(任期1年)。
主教 サムエル大西 修(退)	2020年4月1日付	愛岐伝道区内各教会における主日礼拝等への協力を委嘱する(任期1年)。
司祭 アンブロジーア後藤香織	2020年4月1日付	柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)。
司祭 ヨセフ下原太介	2020年4月1日付	柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)。
聖職候補生 ヨハネ相原太郎	2020年4月1日付	柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)。

### 京都

司祭 パウラ麓 敦子	2020年2月1日付	願いによって休職を許可する。 京都聖ヨハネ教会牧師の任を解く。 ウイリアムス神学館主事の任を解く。
主教 ステパノ高地 敬	2020年2月1日付	京都聖ヨハネ教会の管理を委嘱する。

<信徒奉事者認可・分餐奉仕許可>

2020年1月17日付 (任期1年)

(聖アグネス教会)

サムソン真継 穰

### 大阪

主教 アンデレ磯 晴久	2020年3月31日付	恵我之荘聖マタイ教会管理の任を解く。
司祭 ヤコブ義平雅夫	2020年3月31日付	西宮聖ペテロ教会主日勤務を解く。
司祭 ウィルソン ウォーレン	2020年4月1日付	西宮聖ペテロ教会主日勤務を命じる。
司祭 テモテ内田 望	2020年4月1日付	京都教区からの要請を受け、岸和田復活教会管理牧師に任命する(任期1年)。
司祭 ペテロ金山将司	2020年4月1日付	恵我之荘聖マタイ教会牧師に任命する。 川口基督教会勤務を命じる(週2日)。
執事 ウィリアム ヒューム ユーワン	2020年4月1日付	プール学院チャプレン補(月・水・金曜日勤務)に任命する。(任期1年)。
主教 サムエル大西 修(退)	2020年4月1日付	中部教区からの要請を受け、中部教区内各教会において主日礼拝等への協力を許可する。また、柳城学院の礼拝等への協力を許可する(任期1年)。
司祭 ヨハネ木村幸夫(退)	2020年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと尼崎聖ステパノ教会(定住)嘱託を委嘱する(任期1年)。
司祭 ウィリアムス竹内信義(退)	2020年4月1日付	司祭ジョイ千松清美のもと東豊中聖ミカエル教会嘱託、および司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会嘱託を委嘱する(任期1年)。
司祭 ダニエル山野上素充(退)	2020年4月1日付	司祭ジョイ千松清美のもと石橋聖トマス教会および庄内キリスト教会嘱託を委嘱する(任期1年)。
司祭 ペテロ齊藤 壹(退)	2020年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと大阪聖三一教会



		(定住) 委嘱および司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会嘱託、並びに、博愛社、聖バルナバ病院、こひつじ乳児保育園チャプレンを委嘱する(任期1年)。
司祭 ペテロ岩城 聰(退)	2020年4月1日付	司祭ジョイ千松清美のもと東豊中聖ミカエル教会嘱託、および司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会嘱託を委嘱する(任期1年)。
司祭 施洗者ヨハネ山本 眞(退)	2020年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと富田林聖アグネス教会および尼崎聖ステパノ教会嘱託、並びに司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会嘱託を委嘱する(任期1年)。
司祭 ペテロ竹林徑一(退)	2022年4月1日付	司祭フランチェスコ成岡宏晃のもと大阪城南キリスト教会嘱託、および司祭ジョイ千松清美のもと庄内キリスト教会嘱託を委嘱する(任期1年)。

### 九州

司祭 ダビデ中野准之	2020年2月1日付	復職を許可し、主教座聖堂付を命じる。住居は久留米聖公教会。
	2020年3月31日付	主教座聖堂付を解く。
	2020年4月1日付	大口聖公会牧師および大口幼稚園チャプレンに任命する。
聖職候補生 マグダラのマリヤ島 優子		
	2020年4月1日付	福岡聖パウロ教会勤務を命じる。
司祭 ヨハネ李 浩平	2020年3月31日付	大口聖公会牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	菊池黎明教会牧師に任命する。
司祭 テモテ山崎貞司	2020年3月31日付	延岡聖ステパノ教会牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	久留米聖公教会牧師に任命する。
司祭 フランシス小林史明	2020年3月31日付	鹿児島復活教会管理牧師および延岡聖ステパノ教会協力司祭の任を解く。
	2020年4月1日付	延岡聖ステパノ教会牧師に任命する。
主教 ルカ武藤謙一	2020年3月31日付	菊池黎明教会管理牧師の任を解く。
	2020年4月1日付	鹿児島復活教会管理牧師に任命する。
司祭 パウロ濱生正直(退)	2020年4月1日付	牧師山崎貞司司祭のもと、久留米聖公教会協力司祭および管理牧師武藤謙一主教のもと、戸畑聖アンデレ教会協力司祭を委嘱する(任期1年)。
司祭 バルナバ壹岐裕志(退)	2020年4月1日付	牧師武藤謙一主教のもと、福岡ベテル教会協力司祭および牧師牛島幹夫司祭のもと、福岡聖パウロ教会協力司祭を委嘱する(任期1年)。

司祭 ダビデ中島省三(退)	2020年4月1日付	管理牧師武藤謙一主教のもと、鹿児島復活教会囑託司祭を委嘱する(任期1年)。
司祭 キャサリン吉岡容子(退)	2020年4月1日付	牧師牛島幹夫司祭のもと、宗像聖パウロ教会協力司祭および牧師李相寅司祭のもと、八幡聖オーガスチン教会協力司祭を委嘱する(任期1年)。

### 沖縄

司祭 ルシア並里輝枝	2020年2月29日付	豊見城聖マルコ教会牧師の任を解く。
	2020年3月1日付	石垣キリスト教会牧師に任命する。
	2020年3月31日付	聖マルコ保育園チャプレンの任を解く。
	2020年4月1日付	エンゼル保育園園長に任命する。
司祭 ヨハネ戸塚鉄也	2020年2月29日付	石垣キリスト教会管理牧師の任を解く。
主教 ダビデ上原榮正	2020年3月1日付	豊見城聖マルコ教会管理牧師に任命する。
	2020年3月31日付	小禄聖マタイ教会管理牧師の任を解く。
司祭 クララ咸 允淑	2020年2月29日付	小禄聖マタイ教会協働牧師の任を解く。
	2020年3月1日付	豊見城聖マルコ教会副牧師に任命する。
	2020年4月1日付	聖マルコ保育園チャプレンに任命する。
司祭 イザヤ金 汀洙	2020年4月1日付	小禄聖マタイ教会管理牧師に任命する。
聖職候補生 ウリエル仲宗根遼祐	2020年4月1日付	主教座聖堂付勤務を命ずる。 ナザレ幼稚園チャプレン補佐に任命する。

### 口日本聖公会『管区事務所だより』購読料改訂のお知らせ

日本聖公会の宣教理念と管区・各教区の実践活動、また世界各国の聖公会の動向を毎号の誌面での確にお伝えする広報誌『管区事務所だより』の年間購読料について、通信費・紙代・インク代の値上がりなど、などさまざまな事由のため、2020年より購読料改訂を実施させていただきましたこととなりました。年間の購読料金は、2020年2月以降のお申込みから、個人1,200円、1か所につき2部以上ご希望の場合は1部1,000円といたします。ご不明な点等ございましたら、管区事務所宛に電話にてお問い合わせください。余儀ない事情をご理解いただき、今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

管区事務所 電話：03-5228-3171

# 聖公会首座主教会議の報告

(2020年1月13日～15日／ヨルダン)

首座主教 ナタナエル 植松 誠

私にとって、今回の首座主教会議は6回目であり、最後の首座主教会議でした。この夏に開かれるランベス会議を前に、多くのことが協議されました。全体の印象としては、主イエスの歩まれた聖地にいることを意識しながら、深い祈りと交わりの中で、大きな恵みに満たされた会議であったと思います。私は、カンタベリー大主教からの依頼によって、会議の中の一セッションを任せ、首座主教たちに日本聖公会という管区について、また私自身について話をする機会を与

えられました。小さな管区であっても、平和と和解の福音宣教を目指して歩んでいること、大韓聖公会との和解と宣教協働など、世界の聖公会に貢献できるものを持っていることを話し、そのことは首座主教たちに大きな感銘を与えたようでした。会議の最後に出されたコミュニケの4)にも、そのことが書かれています。

首座主教会議の内容については、コミュニケをどうぞお読みください。(翻訳は主教被選者西原廉太司祭)



## 首座主教会議コミュニケ

ヨルダン、2020年1月13日～15日

いと高きところには栄光、神にあれ、平和、御心がすべての人にあれ。私たちの主イエス・キリストの御名により祝福を送ります。

1) アングリカン・コミュニオン<sup>の</sup>首座主教たちは、ジャスティン・ウエルビー、カンタベリー大主教の招待を受け、また、エルサレム教区ならびにスヘイル・ダワニ大主教の歓待のもと、2020年1月13日から15日にかけて、ヨルダンで会合を持ちました。

2) 私たちの会議は、祈り、<sup>ことば</sup>聖餐の sacrament、聖書研究を通じた神のみ言という賜物を分かち合うことに基礎づけられたものでした。私

たちは、共に聖餐を分かち合う中での一致を喜び、また、キリストご自身が洗礼を受けられた場所に繋がるヨルダン川で共にする閉会の祈りの中で、自らの洗礼の約束を更新することとなるでしょう。

3) 会議が持たれた場所は非常に意味深いところでした。私たちは、聖書の土地であるヨルダンに集められたのです。そこは、イエスが死に、そしてよみがえられたエルサレムのすぐ近くでもありました。会議の終盤、グループに分かれて、モーセが約束の地を眺めたネボ山、エルサレム、ベツレヘムへと、それぞれ巡礼に出かけます。共に過ごす中で、この地域におけるキリスト教の長い歴史と、今日、中東のキリスト者が直面

する圧力に思いを馳せました。エルサレム正教会総主教テオフィロ3世と面会し、歓迎の言葉を受けたことを感謝しつつ、私たちは、「エルサレムの平和のための祈り」(詩編122:6)を唱えました。ヨルダン国王アブドラ2世の謁見の榮譽にも浴しました。国王は、異なる信仰を持つ人々が、その違いにもかかわらず共に生きることができるとともに尽力すること、また、この地にあるキリスト者を支援することを、力強く語ってくださいました。アンマンの自宅に私たちを迎えてくれたサルフィティ家の温かいホスピタリティにも感謝しました。

4) 首座主教として集められた私たちは、アングリカン・コミュニオン(ACN)の現下の緊張について、当然ながら意識していました。しかしながら、共に歩むことを促す、私たちのただ中におられる聖霊を深いところで感じ取っていただいたのです。私たちは、人々と国々との間の和解という賜物についての、日本聖公会の首座主教による心揺さぶられる証しに耳を傾け、私たちがこの場にあることを喜びつつ、会議を終えたのでした。

5) 40管区中33管区から首座主教が出席しました。3名の首座主教が出席しないことを選択し、4名が、空位、病気、もしくはその他の困難ゆえ、出席できなかったことは残念なことでした。私たちはいつも、仲間の不在を大いに嘆くものです。

6) 私たちは、今回、首座主教会議に初めて参加された12名の新首座主教、とりわけ、新しく誕生したチリ管区首座主教を歓迎しました。また、任期を終えようとする首座主教に別れを告げました。私たちが共に集められている最中に、南ケララ主教のダルマラジ・ラサラーム師が、南インド教会(CSI)の議長に選出されたという報せを受けました。私たちは、ラサラーム師が担う新たな働きに祈りを合わせると共に、次回の首座主教会議を迎えることを楽しみにしています。私たちは、エジプト、北アフリカ、アフリカの角と呼ばれる地域を管轄する新管区、アレクサンドリア管区の設立を承認しました。また、スリランカ管区形成の進捗も確認しました。

7) 私たちは、世界中から共に集められ、それぞれの国、教会における多様な状況を持ち寄



2020-Amman-Jordan-primates-group-photo

り、分かち合い、祈り合うことができました。世界のさまざまな場所で、キリスト者は深刻な圧迫に直面しています。それは、キリスト者としての生活と働きを困難なものとし、時には耐え難い状況へと追い込んでいます。私たちは、一つのからだであるがゆえに、これらの兄弟、姉妹たちの強靱さと誠実さによって強められるのです。首座主教会議として、私たちは、世界中における平和、正義、そして和解のために心から祈ります。とりわけ、南スーダン、スーダン、コンゴ民主共和国、ボリビア、チリの人々を覚えます。森林火災のただ中にあるオーストラリアの人々の状況に心を痛めます。ラテンアメリカをはじめ、世界各地で、移住と立ち退きにより影響を受けている人々のために引き続き祈ります。カイバル・パクタンクワ州政府による、100年以上もの歴史を持つキリスト教大学であるエドワードス・カレッジの接収に懸念を持っており、州政府が、教会の権威によるカレッジ運営の回復という観点から、パキスタン教会パシャワール教区との対話に入るよう求めるものです。

8) 子どもたち、そして傷を負う人々を守ることは、引き続き重大な関心が払われるべき課題です。過去、そして現在における虐待という事実は、痛みと後悔は終わることがないという問題でもあります。私たちは、「セーフチャーチ委員会」(Safe Church Commission)の進捗報告を聞きました。教会が過ちを犯し、また今もなお過ちをし続けていること、教会が配慮すべき人々を守っていないことを悔い改めます。私たちは虐待から生還したすべての人々の声に耳を傾け、共に働くことを今一度誓い、再確認いたします。そして、私たちの教会の内に安全な環境を備えることを決意するものです。

9) 私たちは、気候変動は将来の脅威ではなく、今日、世界の多くの地において現在進行形の現実であることを強調する「聖公会環境ネットワーク」(Anglican Environmental Network)の

報告を聞き、またその働きに感謝しました。

10) 私たちは、福音伝道に献身することを再確認し、新設された、「聖公会プランティング委員会」(Anglican Planting Commission)の働きを支持するものです。

11) 私たちは、すべてのアングリカン・コミュニオンに属する諸教会が、「全聖公会予算」(Inter-Anglican Budget)の主旨に従って、貢献すべきであることに合意しました。また、決定された各教会の貢献に関する新たな設定への移行を推奨するものです。

12) 2016年の首座主教会議において、カンタベリー大主教は、直面する複雑な状況にも拘わらず、いかに私たちが共に歩むことができるかを検討するタスク・グループを立ち上げることを求めました。今回の首座主教会議で私たちは、共に歩むことに献身し続けることを確認しました。私たちは、タスク・グループの作業を受理し、他のアングリカン・コミュニオンの器—ランバース会議、ACC(全聖公会中央協議会)に推奨しました。私たちは、タスク・グループの作業の継続を委託されたグループが、ランバース会議という光の中で、私たちがいかに共に生き、働くことができるかを探究することを勧めました。また、私たちは、アングリカン・コミュニオンの諸教会が、大斎節第5主日(2020年3月29日)を、タスク・グループが作成した「悔い改めの祈り」に焦点を当てる日として、特別に過ごすことを推奨するものです。

13) ランバース会議は、今年、カンタベリーで行なわれます。私たちは、会議の計画について、実施概要、プログラムの両面から理解を新たにしました。私たちは、ランバース会議での議論の果実を、いかに広範に共有することができるかを協議しました。また、神の世界のために神の教会を建てるという神の宣教において協働するように、ラ

ンベス会議に共に集められた主教たちが、いかに教会と世界を「招く」ことができるかを探究しました。また、私たちの違いの中で、共に歩むことの意味を探る時に、ランベス会議が、この旅と、現在登録している650名の主教と506名の主教配偶者にとって、きわめて重要な要素であることを確認しました。タスク・グループの作業は、二人の弟子たちが、復活されたキリストと出会っているとは知らずにエマオへの道行きを旅する物語(ルカ24:13-35)を私たちに思い起こさせました。キリストがパンを裂かれた時に、その人が主であることについて気づき、弟子たちは永遠に変えられるのです。彼らは同一の人間ではあるけれども、変えられるのです。そして、彼らは、新たに見出した喜びの中で、ご復活の良き知らせを宣べ伝えるために、エルサレムへと戻るのです。

14) 首座主教会議を実務面からサポートして下さったアングリカン・コミュニオン・オフィス

(ACO) とランベス・パレスのスタッフ、祈りをもって私たちを支え、見守ってくださった聖アンセルムス修道会 (Community of St Anselm) とシュマン・ヌフ修道会 (Chemin Neuf community)、そして、私たちを歓待し、支援してくださった聖公会エルサレム教区大主教とスタッフのみなさんに感謝するものです。

15) 会議を通して、共に集い、共に歩み、共に在り続けるようにと私たちを招いておられる聖霊の臨在を強く感じるようになりました。この会議の期間中、私たちのために祈ってくださった世界中の人々の祈りに深く感謝いたします。また、自分たちの管区、そして、アングリカン・コミュニオンに、全能なる神の配慮と御導きが与えられるために、私たちは自ら献身することを誓います。

ヨルダン

2020年1月15日



首座主教たちとヨルダンのネボ山(ピスガ山)山頂の修道院で。



カンタベリー大主教とヨルダン川のイエス受洗地で。

**特集 各教区正義と平和担当者の集い** (2020/2/3 ~ 2/4・京都)

## 「正義と平和委員会」が目指すもの

正義と平和委員会担当主教 主教 ダビデ上原榮正

人よ、何が善であり、主が何を前にお求めておられるかは、前にお告げられている。正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。(ミカ書6章8節)

日本聖公会の各教区・各教会には、日本の高齢化、少子化に伴い、教会でも信徒の減少、聖職、働き人の不足、献金の減少、礼拝堂、牧師館の老朽化と修繕、改築の必要など、緊急を要する問題が山積しています。

にもかかわらず、日本聖公会の管区、教区、教会は一般に社会宣教と謂われる「正義と平和」の問題に取り組む必要があります。何故なら、私たちの信仰は何もしなければ、歪められ、奪われてしまうからです。ですから、私たちは内向きではなく、外向きにも宣教の働きをする必要があります。

「正義と平和」委員会の目指すことは、「主の祈り」の実現です。「主の祈り」の中に、「御国が来ますように」(マタイ6:10)、とあります。イエスさまは、十字架の死と復活によって、「神と人とを愛しなさい」という律法全体を完成させ、神のみ国を実現しました。しかし、この地上で肉の体に生きる私たちは、未だに神の御国の実りを味わうことが出来ないままです。その実現のために、教会の宣教があります。

この肉の体に留まる限りは、私たちは誰もが問題を抱えます。でも、私たちは既にキリストの十字架によって、罪が赦され、救われた者、永遠の命に与る者となっています。現代の日本社会に生きる私たちは、キリストに救われている者として、次のことを教会の取り組むべき「正義と平

和」の課題として挙げる事が出来ると思います。

1. 信仰、表現の自由の保障。  
かつて国策で天皇崇拝のもとで、信仰と表現の自由が歪められ、キリストよりも国家を愛することを強要された経験から、2度と同じ過ちを繰り返すことのない社会を目指す。
2. 戦争のない世界の実現。  
75年前、太平洋戦争を始めて、アジア各国の人々と自国民に大きな苦しみと犠牲を強いた日本国民として、二度と戦争をしない、起こさない決意と戦争のない平和な世界とその実現に取り組む。
3. 核兵器の開発、使用に反対する。  
広島、長崎での被ばく国として、非人道的で多大な環境破壊を引き起こす大量破壊兵器や原爆等の開発、使用に反対し、核兵器の廃棄、縮小を世界に呼びかける。
4. 基本的人権が尊重されるように努める。  
①日本には多種、多様な宗教、文化を有する外国の人々、また琉球、アイヌ、在日韓国人、被差別部落民等が共存している。差別発言、ヘイトスピーチなど、人権、人格を傷つける行為に抗議、反対する。  
②人は同じ命を与えられている。女性、子供、老人、身体障害者、知的障害者、LGBT、元ハンセン病患者などの人権尊重と権利拡大へ向けて取り組む。また、聖書的な見地からも学びを深める。
5. 人命が尊ばれる国となる。  
命は神からのものであり、誰にも奪うことも、与えることも出来ない。死刑廃止を訴え、死刑執行には抗議し、被害者、加害者

家族への救済処置の拡大を求める。

6. 正当な裁判を求める。  
国家権力や地方行政に反対する人たちを、不当逮捕し、理由もなく不当に長期な身柄の拘束が行われ、自白が強要され人権が奪われていることへ抗議し、反対する。
7. 原発、米軍、自衛隊基地など特定地域への過重負担を無くす。  
過疎や貧しい地域へ原発及び処理施設、米軍基地、自衛隊基地などの押しつけによる荷重負担を減らし、エネルギー問題、安全保障の問題など、日本全体の問題は、国民全体で討議するようにすること。

まだいろいろと取り組むべき課題はあると思いますが、問題は現代社会、特に先進国と呼ばれる国の民主主義が壊れつつあることだと思います。沖縄では、県民投票が行われ、県知事選、衆議院、参議院の選挙で、辺野古への米軍基地建設反対の票が多数を占めてきました。

にも関わらず、県民の総意は無視され、粛々と辺野古の米軍の新基地建設が進められています。また反対する住民を取り込むために、新基地建設の誘致を決めた地域へは、インフラ整備を名目に手厚い補助金が支出されています。これは飴と鞭による分断統治です。

正月早々、日産のゴーン元会長がレバノンへ脱出したとの報道でひと騒ぎ起こりました。元会長は、起訴後の拘束があまりに長いこと、家族との面談が制限されていること、人間的な扱いを受けていないことなどを挙げ、日本では正当な裁判を受けることが出来ないと、訴えていました。

沖縄でも、辺野古への米軍の新基地建設の反対運動のリーダーをしていたH氏が軽微な犯罪で逮捕、拘置され、起訴後も、H氏は病気であったにも関わらず、何か月も勾留され続け、放置されました。まるで、国の政策に反対する人々への見せしめのようなものでした。

私は日本が人命が大切にされ、人権が守ら

れ、出生に関係なく、誰もが自由、平等に、平和に生きる国であって欲しいと願います。特に、若者たちが夢や希望を持てる国であって欲しいと願います。

教会は、若者たちへ信仰を繋ぎ、未来へキリストを伝えるためにあります。私たちの信仰を歪めるものには抗議を行い、小さく貧しくされている人々の「正義と平和」を求めていきます。「正義と平和」の目指しているものは、神の国の実現です。そのために日本聖公会の「正義と平和」委員会と各教会、教区の働きがあると思います。

**平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。**

(マタイによる福音書5章9節)



#### ■立教学院奨学金についてのお知らせ

立教学院では、1998年度に「聖公会教役者の子及び聖公会神学院校長の推薦する大学院学生に対する立教学院奨学金規程」を制定し、聖公会教役者の子である立教学院各学校の児童・生徒・学生に対し、奨学金を交付しております。交付は1年間で、次年度以降も申請できます。

各校の申請期間・対応窓口は次の通りです。

大学・大学院	…4/1～4/24	財務部経理課
新座中高・池袋中高	…4/1～4/24	事務室
小学校	…4/1～4/24	事務室

※窓口業務時間内のみ対応。期間厳守。

お問い合わせ：立教学院 (03-3985-2752)



## 2020年各教区 正義と平和担当者の集い

管区正義と平和委員 司祭 フランシス 長谷川清純

2月3日～4日、京都教区センターを会場に「各教区正義と平和担当者の集い」が開催されました。この集いは、各教区に置かれた正義と平和担当者および日本聖公会正義と平和委員会との報告・協議の場として、毎年開催されているものです。全教区の担当者が集い、2019年度の各教区また管区の正義と平和に関する報告が行なわれたほか、「教会と社会的な課題について」と題して、管区正義と平和委員長の上原榮正主教から発題がありました。

・1日目 第1セッション 各教区からの報告  
正義と平和担当者は、各教区内での位置づけが教区によって異なる面があり、管区との働きが必ずしも直結していない教区もありますが、各教区なりに主体性をもって働かれていることが報告されました。

北海道教区は、宣教活動推進部「教会と社会グループ」としての報告がありました。「平和・人権について考え祈る集い」が春と秋に開催され、春はミランダ・シュラーズさんの連続講演 in 北海道、秋は新天皇・大嘗祭についての講演会、また「パレスチナ問題とキリスト教」のタイトルで岩城聰司祭のサビールの集いと、カトリック正義と平和主催でエキュメニカルに大町信也司祭の講演会開催、平和関連では信教の自由を守る2.11集会や「安保法制に反対する北海道宗教者連絡会」に参画、人権関連では外国人登録法問題に取り組む北海道キリスト教連絡協議会の学習会や報告会に参画、日韓請求権協定に関する緊急学習集会に参加したこと等、実に活発な働きの報告がなされました。昨年度は、宣教活動推進部「教会と社会グループ」の下に「アイヌ民族委員会」が設置されました。このグループの部員や各教会でも多くの動きがありますが、特に脱

原発や環境問題など、いのちの尊厳に関わる集いに参画しているとの報告がありました。

東北教区は、継続して広島平和礼拝に参加していることや、反原発運動の署名活動に協力している複数の教会があったこと、正義と平和に関する超教派の集いに参画した教会があったことが報告されました。教区組織改革が2018年から続いており、どこの部門と連携をとっていくのか考え、執行部と報告者との連携を計りながら働きを広めたいと考えているとのことでした。

北関東教区からは、群馬県草津市の国立療養所栗生楽泉園の中にある聖慰主教会の現況報告がなされました。

東京教区の正義と平和協議会は「この世界にあつて正義と公平を求める教会が、関心を払いまた対応すべき社会的事象に対して、その使命を実行していくため情報を交換し、教区内外に伝達するとともに、また具体的な対応をする。教区及び教会に必要な教育的プログラムを立案し、実施することができる。」を職務とし、「正義と平和に関する活動・事業または課題に関わっている個人または団体によって構成」されており、現在、個人会員21名団体会員13団体で構成されているとのことでした。

横浜教区は、宣教主事のもと、新メンバー2名を加えて新しい雰囲気でも活動している社会委員会と社会委員会関連団体の働きが報告されました。品川入国管理局と牛久収容所における面会支援ボランティアの実施、MTS（ミッション・トリ・シーフェアラーズ）活動見学、ニュースレターの発行をしています。「エファタ」と寿町プロジェクトにおける地域支援が報告されました。

中部教区は社会宣教部の報告がなされ、死刑執行に対する抗議をしたこと、「福岡事件」から再審・恩赦・死刑を考える講演会を共催したこと、天皇代替わりについて管区から声明が出たが、部会として全く取り上げることができなかった反省、同じくあいちトリエンナーレの「表現の不自由展」中止に関して、知る権利や信仰の自由に関わる深刻な問題であることを信徒に伝えることができなかった反省、諸々課題について教区全体に発信していない現状の報告がなされました。

京都教区は、教区の宣教部に所属している方が正義と平和担当者であること、「J'sキャンプ2019春」が3月、小笠原父島にて行なわれ、中高生15人(京都12人、大阪3人)、スタッフ5人(京都3人、大阪2人)が参加。中高生たちは大自然を前にし戦争と隣り合わせに生きた信徒との触れ合いで、生の体験を学んだキャンプの成果が報告されました。また、崇任(すうじん)地区や生野体験学習、平和学習会、文字に出来ない戦争体験談を伺ったことが報告されました。

大阪教区の正義と平和担当者は、人権担当者の働きと分離するのは難しいと考えられ、教区の関係する委員会等と協働することが有効と思って活動しております。関西における正義と平和に関する課題に取り組む働きを担うエキュメニカルなグループ・団体に、大阪教区が加盟・参画しています。外国人の住民としての尊厳(人権)と生活に関する対行政交渉事例が報告されました。また、桃山学院教育大学入学式・卒業式「日の丸掲揚、君が代斉唱」事案への取り組みが報告されました。

神戸教区は、阪神淡路大震災復興記念礼拝、広島平和礼拝2019、防災学習会の報告がなされました。広島平和礼拝2020の予告では戦後75年を迎えてのプログラムの提案がなされていますが、東京オリンピックの影響を受けて宿泊施設が取れない状況も報告されました。

九州教区は、長崎原爆記念礼拝の実施、沖縄週間・沖縄の旅や広島平和礼拝、「原発のない世界を求める国際協議会」への参加、「在日韓国・朝鮮人差別を共に考える日(3月3日)」としての代祷、「三・一運動」についての資料配付、冊子「戦争証言集に加えて」を作成・配布しました。教区社会問題への取り組みは伝道部が担当しています。教会レベルでは様々な平和と人権に関する学習会やチャリティーコンサート、被爆者の証言を聴き、平和の祈りを行ないました。

沖縄教区は、沖縄週間・沖縄の旅プログラムが実施されて、嘉手納基地・北谷町・クマヤーマガマ・沖縄国際大学・辺野古・キャンプシュワブ見学、前泊博盛沖縄国際大学教授の講演などの報告がありました。沖縄の基地問題を全国がどのようにしたら自分の事とするかが重要な課題であると指摘されました。

#### ・第2セッション 発題

上原榮正主教から「教会と社会的な課題について」の発題がありました。それを受けて、各教区担当と正平委員参加者が全員各自の感想を述べ合いました。



発題される上原榮正主教

#### ・2日目 正義と平和委員会報告

沖縄プロジェクトからは、沖縄週間・沖縄の旅2019報告と、2020年はCCEA青年大会参加者が事前学習として参加する旨報告されました。

憲法プロジェクトは憲法記念日のポスター作成・配布、「天皇の退位と即位に関する声明『大嘗祭への国の関与は政教の分離原則に反します』」に関して」文書作成・配布、『戦争証言集』

の英語版作成協力と新たな証言集の準備、「政教分離」についてのメッセージ作成中、「憲法記念日のポスター」全面変更、憲法「改正」の政府の動向に注視する等の報告がされました。

ジェンダープロジェクトは、ジェンダー(=社会的・文化的につくられた性・性差)からの開放の視点で「すべての人が尊重される教会と社会の実現」を目指すことを目的としています。『タリタタム』発行、セクシャル・マイノリティやハラスメントについての学習会参加、ジェンダーの平等を考えながら、2020年の次期総会期からは、男性と女性各1名の新メンバーを加えること等が報告されました。

原発問題プロジェクトからは、リフレッシュプログラムで子どもリフレッシュキャンプin岐阜、郡山市のセントポール幼稚園園庭内に埋設されていた汚染土除去費用といわき市の聖テモテ幼稚園園庭砂場の砂入れ替え費用補助、2020年3月リフレッシュプログラム募金停止、「原発のない世界を求める国際協議会」開催、再生可能エネルギー転換のための行動、ニュースレター「いのちの海と空と大地」発行等が報告されました。「宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判」への協力と、映画「福島は語る」上映推進・経費一部補助が伝えられました。

死刑制度廃止関連担当からは、死刑執行に対し、①2018年12月27日付、②2019年8月2日付、③2019年12月26日付、日本聖公会正義と平和委員会委員長名で、内閣総理大臣と法務大臣宛抗議文を出したと、再審請求中の死刑囚が躊躇なく刑執行されるようになったことが憂慮されました。

陪席した人権問題担当からは、各教区人権問題担当者会の報告、2020年度新任「人権」研修は5月19-21日開催、2020年度人権セミナーを9月8-10日、北海道教区で日本原子力研究開発機構・幌延深地層研究センター見学を含めて開催予定とのことでした。

なお、6月に開催される日本聖公会第65(定期)総会の人権研修では、前泊博盛沖繩国際大学教授の講演が予定されています。

教区によって地域性があり、取り組み方がさまざまですが、「いのちを大切に」をモットーに、いのちを損なう勢力に対抗して、関係する人たち、委員会、団体と広く協働していく柔軟性、宗教を超えての繋がり、協働が大事なのであると私には思われた集いでありました。



### BSA セミナーのご案内

「来日宣教師の働きと教区編成」

一米・英・加ミッションの特色と日本聖公会一趣旨:

幕末から明治にかけて米・英・加ミッションを中心とする宣教活動が勢よく展開された。宣教活動とは、どういう歴史的背景と使命感のもとで行なわれたのか。ミッションの違いは、教区の形成や教会の礼拝にどう影響したのか。時あたかも今年の管区総会では、宣教体制の見直しについて議論されると聞く。この機会に宣教師たちの働きから学ぶことは何か。

記

日時: 2020年5月23日(土) 午後1時  
会場: 目白聖公会(東京都新宿下落合3-19-4)  
(JR目白駅下車・左へ500m)

講師: 松平信久氏(全・立教学院院長)

主催: 日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)

後援: 日本聖公会

参加申し込み: 事前の申し込み不要

参加費: 700円(資料代を含む)

問い合わせ: BSA 電話: 03-3436-4325

## 各教区青年担当者会を経て

管区青年委員 司祭 イグナシオ 丁 胤植

2020年2月10日から11日にかけて各教区の青年担当者の集いが管区青年委員会主催で名古屋学生青年センターにて開かれました。特に今回は今年フィリピンでの開催予定のCCEA青年大会に参加する青年メンバーのうち6名が大会準備のため一緒に参加しました。青年担当者と青年たちの共通の学びとしては、①「日本聖公会とCCEA」について小林聡司祭から、②「原発のない世界を求める国際協議会」報告を赤坂聖矢さんから、③「沖縄週間/沖縄の旅」について、これまでの取り組みと発題を小林祐二司祭から話していただきました。これらの内容は、現在日本聖公会が社会宣教の課題として関わっていることで、CCEA青年大会の中で青年たちから発題する内容の材料になるため一緒に学びの時間をもちました。

その他青年担当者の方々から各教区の子ども・中高生・青年活動の現状が報告され、質疑応答の時間も持ちました。東北教区から、昨年度のテーマは「青年同士“顔の見える関係”作り」で、その具体的実践としてキャンプを開催し未信徒の青年や幼保園の先生からも参加者が与えられたという報告があったことと、神戸教区からの報告で、キャンプに参加してもらう人を

探すときに電話で一人ひとり一本釣りをしたという話と、長い間準備していた中高生キャンプが台風で取りやめを決定せざるを得なくなったとき、寂しがっていた中高生たち一人一人とその保護者にそれぞれ連絡をしたという話を聞いてとても熱い刺激を受けました。さらに、なにより参加者の安全を最優先として考えるべきであるという意見が京都教区の報告からも聞きましたので、教会の行事を行なうにあたって非常に大事なことを忘れてはならないという意識を改めて再確認することができました。

そして、各教区の様々な状況の中で青年活動の活性化のため工夫している青年担当者や青年たちの努力と奉仕の働きがなされているということをつかち合いながら、お互い励まし合われる有意義な経験をさせて頂きました。

その他、特に今年は日本聖公会青年大会が9月に関西で予定されている年で、実行委員会を中心にその準備が進んでいるとのことと、2021年の日韓青年セミナーの日韓協働委員会での打ち合わせの内容と、U26の活動報告などがなされました。

※ CCEA( 聖公会の東アジア教会協議会)

## CCEA 青年大会第1回準備会@名古屋

—東アジアの青年との連帯の中で—

去る2020年2月10日(月)から11日(火・祝)、1泊2日名古屋学生センターにて、青年担当者会と合わせて、2020年8月12日(水)から17日(月)にフィリピン・マニラで予定されているCCEA青年大会の参加予定者の第1回

管区青年委員 執事 アンデレ 松山健作  
準備会が開催されました。

今回の準備会は、CCEAという集まりが何であるかを知ること。またCCEA青年大会がどのような経緯で立ち上げられたのか。そして2020年夏の本番に向けて日本聖公会の青年か

ら何を発信することができるのかについて検討する準備会となりました。

まず初日は、大阪教区の小林聡司祭からCCEA元EXCO（常議員）のご経験からそれに関するイントロダクションをしていただきました。また日本聖公会とCCEAとの関係性についてもお話を伺うことができました。

CCEAは、東アジアの宣教フィールドにおいて、交わりを大切にしてきた各教区の主教たちを中心とする集まりです。近年では、その集まりが青年や女性にシフトされつつあり、CCEA主教会を開催する1年分の予算が青年のために用いられることになりました。そして実現したのが2016年マレーシア・クアラルンプールでの青年大会です。それに続き今夏の大会は、CCEA第2回青年大会となります。大切にされてきた聖公会における交わりを青年の間でどのように形にすることができるかが課題となるのでしょうか。

準備会の二日目は、東北教区の青年担当者赤坂聖矢さんから「原発のない世界を求める国際協議会」、横浜教区の小林祐二司祭から「沖縄週間・沖縄の旅」の報告から学びました。日本の信仰者として、原発のない世界を求め、争いのない平和な世界を求め、信仰といのちの尊厳性をどのように語るかという大きな課題と向き合う必要性を感じました。

青年参加者一同は、3つの発題を受けて、

東アジアの青年にどのように原発、沖縄の事柄を発信していくかについて検討しました。東アジアのコンテキストは、非常に多様で歴史も文化も民族も異なります。また私たちは日本という立場からかつての戦争を顧み、東アジアへの戦争責任という視点も含めて、それらの事柄を発信しなければならないでしょう。これらは政治社会的な問題を含みつつ、また私たちの信仰の問題として、青年参加者と共に学び、そして東アジアの青年と連帯する中で、大きな祈りの課題として共有できないかと祈っています。

次回CCEA青年参加者は、第2回準備会を沖縄週間・沖縄の旅に参加させていただき、実際に現場を見ることで準備を行います。各教区信徒のみなさま方から多くの支援と祈りをもって東アジアに送り出していただけのことに感謝しつつ、祈りを持って歩みを進めていければと願っております。



## USPG 交換プログラムに日本人が初めて参加

管区渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

USPG (United Society partners in the Gospel、※かつてのUnited Society for the Propagation of the Gospel) は長年にわたり、英国から世界中の聖公会の各教区に3か月から2年の期間、ボランティアを派遣するプログラム

を運営してきました。

この「場所交換」プログラムは、アングリカン・コミュニオンのさまざまな地域間のつながりを促進し、世界的な教会のミニストリーに対する理解と感謝を深めることを目的としており、参加者は

世界の別の場所で、おそらく自己とはまったく異なる環境で聖公会の活動を体験することができます。

そして、このプログラムに初めて日本人が参加することになりました。

今年の4月から神戸教区の小林真子さん(20代)がプログラムに参加し、一年間にわたって西アフリカ聖公会のガーナ管区にあるケープ・コースト教区で、聖公会が運営する小学校を手伝う予定です。

ケープ・コースト教区のビクター・アッタ・バフォー主教は、真子さんを歓迎するのを楽しみにしておられ「彼らがお互いに楽しみ、学び合いながら、日本・ガーナ間で人と聖公会教会のつながりを強めてくれることを確信しています」とコメントを寄せています。

USPG グローバル・プログラム・マネージャーのハビブ・ネーダー氏は「交換プログラムは基本的

に、リソースや専門知識を共有し、お互いの文化やミッションを知る機会や経験を提供することを目的としており、ヨーロッパ以外のUSPGパートナー教会を奨励しサポートしています。これはマコと日本聖公会にとって素晴らしい機会です。」と述べています。

日本国内で聖公会に所属することは、多少の孤独感を感じることがありますが、真子さんの派遣が成功した後、日本聖公会の他の関係者にもこのプログラムに参加するよう奨励されることが期待されます。アングリカン・コミュニオンのさまざまな地域を訪問すること、必要としている地域へ手助けすること、自らの信仰で成長すること、新しい環境でその信仰を貫き通すこと、これらすべてを通じて、日本聖公会と他の聖公会の国々とのより良い関係を築くことができるでしょう。

真子さんと彼女のガーナでの経験のためにお祈りください。

## 子ども達へ

## 聖書 —学校では教えてくれない大切な事—

(寄稿)

### 第4話 「聖書の話」

北関東教区志木聖母教会信徒・元立教小学校校長  
田中 司

今回は、聖書全体についてお話ししましょう。

今までも、聖書の引用はしましたけれど、それは分かりやすい個所の引用で、それも聖書を見なくても済む様に、そのお話を全部紹介しながら書いてきました。それは、元の聖書が、君達子どもには、難し過ぎるし、厚すぎるので、とても子どもの手に負える本ではないからです。高校生位になったら自分の聖書を持つと良いでしょう。

聖書は、旧約聖書と新約聖書に分かれています。聖書の中心は、神の一人子イエス・キリストです。旧約聖書は、天地創造からイエス・キリストの誕生の前まで、一言で言って、救い主イエス・

キリストの誕生の預言です。そして新約聖書はイエス・キリストの誕生と生涯の物語。それと、イエス・キリストがお作りになった教会とその始めの頃の活動の物語です。

前にも書きましたが、聖書は、神様が人間に語り掛けて下さった事を人間が聞いて書物にしたものが中心です。でもその人間は、2000年前の人間なので今の人間とは言葉も論理も習慣も随分ちがうでしょう。ですから、書いてある事がそのままでは、今の人には理解し難いと思います。それに、聖書には神様の言葉が書いてあると言っても、その箇所は一言一句神様の言葉を

文字にしたものではありません。神様が何等かの形で示して下さった事を、それを理解した人が自分の言葉で文章にしたものです。語り掛けて下さった事は確かな事ですけど、どんな言葉で、何を語ったかは、謎です。何等かの形で人間に示された神様の心を、2000年前の人間が、2000年前の言葉と論理で、まとめた物が聖書なのです。ですから、その文章から神様の心を読み取るのはやさしい事ではありません。聖書は、元の語り掛けは神様でも、書物としてまとめたのは人間です。ですから人間が書いた部分も沢山あります。神様の言葉以外に、イスラエルの歴史物語やイスラエルの詩を集めた「詩編」等、それから天地創造の物語、その中にはバビロニアの人の考えも入っていましたね。

でも聖書は神様の言葉を元にして書かれた重要な書物なので、出来上がった後は、一言もいじらず今日まで読み継がれています。それは重要な事なのですが、大きな問題があります。繰り返しになりますが、聖書を書いた人が2000年前の人なので、そのまま読んだのでは良く分からないと言う事です。そこで聖書でなく、2000年前に聖書を書いた人達が2000年前の人達に直接、イエス・キリストとの出会いを、言葉と行動で伝えてくれた事柄、それを「伝承」と言うのですが、その伝承も神様の心を知るために重要なのです。その伝承を、聖書を読みながら大切に生活している「教会」と言う集まりがあります。教会では、聖書を理解するだけでなくイエス・キリストが教えてくださった「祈る」事も大切にしています。聖書を理解するには、その教会の助けを借りる必要があります。

教会には、「牧師」と言う人がいます。イエス・キリストが教えてくださった祈りを教える事と、2000年前の言葉を今の言葉に直す事と、伝承を伝える大切な仕事をしています。

その他に2000年前の言葉を専門に研究している「神学者」という学者もいます。ですから聖書を理解する為には、教会に行って祈り、牧師の話を聞き、教会の生活をする必要があります。

また、神学者の話を聞く事もその助けとなるでしょう。

それでも、子どもが聖書を理解するのは難しいのです。それは使われている言葉が全部大人の言葉だからです。子どもの為の牧師か神学者がいたら良いのですが、今、日本は、牧師も神学者も足りなくてそれどころではありません。

そこで僕が子どもの為の聖書の話を試みているのですが、子どもの為の聖書の話を読んでも、それを誰が書いているのか分からなかったら不安でしょう。ですから、今回は、聖書の話とは関係ありませんが、簡単に僕の自己紹介をしておきましょう。

僕は神学者でも牧師でもありません。でも、小学校の教師をしていたので、子どもの言葉は使えます。若い頃は、物理学と神学を学びました。そして、山登りと音楽と工作が大好きで、ヒマラヤに行ったり、オーケストラに入ったり、パイプオルガンを作ったりしました。自分でも何になるのか分からなかったのですが、大学院へ行っている時に母校の立教小学校で講師として教えるチャンスがありました。そうしたら、小学校で教える事が面白くて、この為に僕は色々な事をやっていたのだと気付きました。そして定年まで立教小学校に勤め、最後の8年間は、校長をやりました。

そして69歳の時に脳溢血と言う病気になり、それ以来右半身が動きません。でも左手でワープロが打てる様になり、この原稿も書ける様になりました。それで子どもの為の聖書の話を書いているのですが、ここでは、これからクリスマスのお話をする事にしましょう。

チャールズ・ディケンズと言うイギリスの大文学者が、「イエス様の御生涯」と言う本を書きました。僕はディケンズ程の文学者が子どもの為の聖書の話を書いてくれるのだから、どんな風に書くのか楽しみに読み始めました。読み終わって、ちょっとガッカリしました。大人の聖書を、ただそのまま子どもの言葉にただけだったのです。聖書を現代語に訳す、そしてそれを子

もの論理で書き直す、それを期待していたのですがダメでした。僕にはそれをする能力はありませんが、子どもが聖書を理解する為には、子どもの論理にしなくてはいけないと思っています。子どもの論理に聖書を書き直したものは見た事ありませんが、子どもにも分かる聖書の話は聞いたことがあるので、それを紹介しましょう。

僕が今まで聞いた聖書の話の中で最も印象に残っている事なのですが、それは、僕が立教大学のキリスト教学科の大学院生の時、神学者の管 円吉先生から聞いた、クリスマスのお話です。

管 円吉先生によれば、聖書のクリスマスのお話はドラマである、と言うのです。ドラマは真実を語れる。クリスマスのお話は、神が示した事を人間がドラマの形で表した。だからそのドラマで示されている事は、神の語った真実である。しかしドラマであるから、一つ一つの場面は、真実かどうかは分からない。

僕は、この話を聞いた時、今までに経験した事が無い位、感激したと同時に安堵感を覚えた事を記憶しています。これでイエス誕生の後、ヘロデがイスラエルの3歳以下の赤ちゃんを皆殺

しにしたと言う話はドラマの一場面であって、事実では無い、と考えられるからです。僕は何としてもイエスを助ける為に、イスラエルの3歳以下の赤ちゃんが皆殺しになると言うのは、我慢できませんでした。赤ちゃんが皆殺しになるのなら、何が神の子か、それで愛の神などと言えるかと思っていました。2000年昔のドラマならあり得る表現です。だからと言ってドラマの真実が変わるわけではありません。

ついでに、管 円吉先生のクリスマスのお話にはこよなく楽しいおまけが付いています。クリスマスというものは、神の子が生まれたと言う大事件で、言うなれば、静かな池のまん中に大きな石がドブンと落ちた様なものだ。その時池の岸辺近くに戯れていた小魚達は、波が来て、なんだか分からないけれど嬉しいなとユラユラ揺れている。クリスマスが何だか分からないのに、楽しいなと騒ぐのは、何が起こったか分からないけれどユラユラ揺れて喜んでいる池の小魚と一緒に、悪い事では無いのだよ。それ以来僕は巷のクリスマスのドンチャン騒ぎも嫌なものでは無くなりました。

